

9月になりました。

一年の中でも特に9月・10月は学校やお役所などのイベントや催事が多い様な気がします。といっても・・・こんな風を感じ始めたのは区の広報やチラシを・仕事から嫌でもm()m 見る機会が増えたり自分で計画したりしている為だと思います。

企画した側、当事者になると誰しもが「ほかの誰かに見てもらいたい、知ってもらいたい」と思うものです。各言う私もゆうゆう館の存在を広める事や講習会やイベントへの参加呼びかけをポスターチラシは元より(少しだけ)WEB 発信なども試みたりしています。「知ってほしい！」と言う欲求宣伝 周知行為には様々な感情が込められます。

「あなたの為にもなります的」押しつけ型

「こんなことしています・見てみて」「私頑張っています」的なナルシスト型

「関心もってください。手助けして下さい！」第三者要望過多型 等

どれもある意味・・・とてもエゴイスティックな面が含まれていると思います。

受け手からするとそういう物が見える時にはとてもその情報が嫌な物になります。



でもそんなエゴイストの発信が「ある時・・・人の心を動かす」場合もあります。

半年前・・・「ALS」と聞いて「あーあれね！」と言える人、聞いた事ある人が

世界にどれだけいたのでしょうか？それが今は言葉として認識されつつあります。

「アイスバケツ運動の目的やチャリティーの意義・ボランティア精神の本質」

それらについては色々な側面や解釈もあると思います。

伝わるうちに初期の意思なども歪められていくと言う場合もあると思います。

ゆがめる気がなくても変わってしまう事(伝言ゲームみたいに)もあるよねと・・・

そんな事が起こることを知ってかきしらずか・・・それでも当事者、発信者は

「その事を知ってほしかった」から発信したのだと思います。

知ること・・・関心を持つことは面倒な事です。知らなければそれで済む事がほとんどです。

私もそう思っています。できれば避けて通りたい事ばかりです。

でも知ることや体験する事などで自分自身の変わるきっかけになる事あります。

情報とは「知った事を自分なりの整理や取捨選択する作業を経た後にのみ自身に蓄えられるものだ」と何かの本にありました。選択には「知った時の感情が素直に関心をもてた物か否かにある」とも書いてありました。

そう「良い悪い」「正しいか間違っているか」ではなく、ただ関心を持ったか否 だと・・・

これを書いていて・フト思い出しました。

「愛」の反対語は「無関心」だと言う偉人の説を・・・

これから私はどんなことを知り、どんな関心を持ち、発信するのでしょうか？

そんな事を考えてしまった9月の始まりです。